

施策番号	2705		
施策名	上下水道事業の経営基盤の強化・安定		
概要	将来にわたり安定した経営を行っていくため、維持管理や建設再投資に係るコスト管理の徹底、上下水道の一体体制による技術、資金等管理の一元化の推進など、一層効率的・効果的な事業運営を実施し、財政の健全化・経営基盤の強化に努める。		
担当局・部室	上下水道局・経営戦略室	共管局・部室	
上位政策	27 くらしの水		
施策に関係する 主な分野別計画等	京（みやこ）の水ビジョン-あすをつくる- 京都市上下水道事業中期経営プラン(2018-2022)		

## 施策の評価

### 1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	水道事業における老朽化した配水管更新の財源となる積立金の確保(億円)	-	-	29.3	22.2	22.2	100.0%	a	1.00
2	下水道事業における将来の大規模更新等に備えた積立金の確保(億円)	-	-	35.9	32.6	32.6	100.0%	a	1.00
3	上下水道事業の企業債残高の削減額(億円)	-	-	158	284	277	102.5%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				a	

### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答					有効回答 者数	評価
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	a	a	193 28.2%	296 43.2%	149 21.8%	34 5.0%	13 1.9%	685	a
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		a	a	市民生活実感調査総合評価						a

### 3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
<b>(重み付けの理由)</b> 本施策は、上下水道事業の財政の健全化・経営基盤の強化を目指すものであり、経営指標の数値の動向が重要となるため						平成30年度	A
<b>(原因分析) 客観指標総合評価</b> <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						平成29年度	B
<b>(原因分析) 市民生活実感調査総合評価</b> <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	水道事業	56,299,895	65,574,000	－	上下水道局
2	公共下水道事業	97,746,714	93,704,000	－	上下水道局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

・京都市上下水道事業中期経営プラン（2018－2022）に基づき、業務執行体制の効率化による職員定数の削減や、効率的な事業運営による経費の削減、企業債残高の削減を行うとともに、施設のライフサイクルコスト削減や大規模更新に備えた資金確保、保有資産の有効活用等による新たな収入源の確保など、経営基盤強化に向けた取組をより一層推進する。

施策名	2705	上下水道事業の経営基盤の強化・安定				
-----	------	-------------------	--	--	--	--

指標名	水道事業における老朽化した配水管更新の財源となる積立金の確保（億円）					
-----	------------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	経営戦略室財務担当	連絡先	672-7722		
-----	-----------	-----	----------	--	--

1 指標の説明

水道事業における毎年度の当年度純利益のうち、配水管更新等の財源とするために確保する積立金の額

2 指標の意味

老朽化が進む配水管の更新を進めるための財源を計画どおり確保できているかを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当年度純損益-長期前受金戻入益※ただし、プランに掲げた目標を上回る利益を除く。  
出典：上下水道局運営方針

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	29.3	22.2	7.1億円減	22.2	上下水道局運営方針	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		100.1	令和4年度	22.2%	京都市上下水道事業 中期経営プラン(2018-2022)

5 評価基準

最新数値が  
a：目標値の100%  
b：目標値の80～99%  
c：目標値の50～79%  
d：目標値の30～49%  
e：目標値の29%以下

6 基準説明

単年度目標に対する達成度が100%をaとし、以下5段階で基準を設定した。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
-	-	a

指標名	下水道事業における将来の大規模更新等に備えた積立金の確保（億円）					
-----	----------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	経営戦略室財務担当	連絡先	672-7722		
-----	-----------	-----	----------	--	--

1 指標の説明

下水道事業における毎年度の当年度純損益のうち、将来の大規模更新や企業債償還等の財源とするために確保する積立金の額

2 指標の意味

将来の大規模更新や企業債の償還等のための財源を計画どおり確保できているかを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当年度純損益-長期前受金戻入益（国庫補助金に係るものを除く）※ただし、プランに掲げた目標を上回る利益を除く。  
出典：上下水道局運営方針

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	35.9	32.6	3.3億円減	32.6	上下水道局運営方針	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		160.2	令和4年度	20.3%	京都市上下水道事業 中期経営プラン(2018-2022)

5 評価基準

最新数値が  
a：目標値の100%  
b：目標値の80～99%  
c：目標値の50～79%  
d：目標値の30～49%  
e：目標値の29%以下

6 基準説明

単年度目標に対する達成度が100%をaとし、以下5段階で基準を設定した。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
-	-	a

施策名	2705	上下水道事業の経営基盤の強化・安定				
指標名	上下水道事業の企業債残高の削減額（億円）					
担当課	経営戦略室財務担当		連絡先	6 7 2－7 7 2 2		
1 指標の説明						
上下水道事業における毎年度の企業債残高削減額(平成29年度末企業債残高4,840億円)						
2 指標の意味						
経営を圧迫する企業債残高（借金）について、積立金の確保等を通じて計画どおり削減できているかを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：前年度末の企業債残高－当年度末の企業債残高 出典：上下水道局運営方針						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	158	284	126億円増	277	中期経営プラン（2018-2022）に基づく単年度計画（運営方針）	102.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		691	令和4年度	41.1%	京都市上下水道事業 中期経営プラン(2018-2022)	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：目標値の100%以上 b：目標値の80～99% c：目標値の50～79% d：目標値の30～49% e：目標値の29%以下						
6 基準説明						
目標値を上回る可能性があるため、単年度目標に対する達成度が100%以上をaとし、以下5段階で基準を設定した。						
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
-	-	a				